



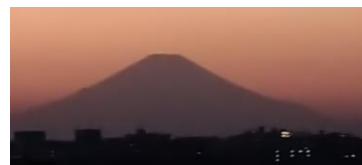
学校だより

令和5年度 第7号
令和5年11月30日発行
横浜市立藤の木中学校
横浜市南区大岡四丁目44番1号
045-714-2817

進路選択 ～自分の生き方を考えよう～

校長 笹原 洋子

11月の半ばから、一気に冬の気配が濃くなりました。右の写真は、岡村6丁目の坂の上(京急バス 岡村富士見坂バス停近く)から撮影した「秋の夕暮れに浮かぶ富士山」です。さらに空気が澄んできて、朝、凜とした空気の中の雄大な富士山も楽しみです。藤の木中は、日本一の山、富士山にいつも見守られているのだなあと感じます。(藤の木中のHPをご覧くださいと、カラーの富士山をご覧くださいませ。)



10月下旬に3年生の進路面談と進路説明会を開催しました。11月7日には2年生を対象とした進路説明会も行いました。その後、15日、16日に中間テストもあり、11～12月は学習や進路のことを考えたり、ご家族で話し合ったりする機会が多い時期だと思えます。

今まで多くの中学生と接してきた中で、中学生は進路のことを考えることを通して大人に成長していきなあとこのことを痛感します。残念ながら、合格できそうな学校を探した生徒からは、あまり成長を感じることができません。自分自身を見つめて、自分の得意なことや苦手なこと、中学卒業後に力を入れたいこと、将来やってみたい仕事などをしっかり考えた生徒は、精神的なたくましさを感じられるほどに成長します。

初めて自分の進路を自分で考える中学生。進路選択をしていくことは簡単なことではありません。そのために、学校では1年生から仕事について学び、2年生では実際に職場へ行って、「仕事をする」ということを体験させるようなカリキュラムにしています。そして、行事や節目の時などに、自分のことを振り返ることを行っています。ご家庭でも、日常的にお子様の様子を見ながら、「こういうことが好きなんだね。」「あなたはこういうことが上手だね。」「あなたの良いところは、〇〇な仕事に向いていると思うよ。」などと声をかけていただくと、将来のことを考えるきっかけになると思えます。

その上での、具体的な進路先の決定です。ぜひ、お子様が生き生きとした生活を送れる進路先を選んでほしいと願っています。中学卒業後、成人するまでの3年間はさまざまなことを体験できる貴重な時期です。知識を増やすことはもちろん、多くの人と出会い、付き合うことを通して、人の心の機微を感じ取ること、何かやってみることに打ち込むことにもふさわしい時期です。3年生にはあまり時間はありませんが、1、2年生は時間をかけて、じっくりと自分の生き方を考えて、進路選択に向かっていきましょう。